



# 長崎と日本に、 新しい答えを。

今回は玉木代表と  
西岡議員の特別対談を  
お届けいたします。

日本の安心・安全を、  
そして女性の活躍を支援したい。  
衆議院議員 長崎1区  
**西岡 秀子**

長崎には、新しい地方創生の  
可能性が広がっている。  
国民民主党 代表  
**玉木雄一郎**

(衆議院議員・長崎1区/1期)  
1964年3月15日長崎市生まれ

【学歴】長崎幼稚園、長崎大学附属小・中学校、活水高等学校、学習院大学法学部卒

【職歴】国会議員秘書(父西岡武夫)、会社員、会社役員

【現職】国民民主党政調会長代理、党新型コロナウイルス対策本部副本部長、党長崎県連代表、党長崎県第1区総支部長

西岡秀子  
プロフィール





## 郷土・長崎の今を見つめる

**西岡** 長崎は人口減少、少子高齢化が深刻な課題です。進学・就職を機に若者の転出や地域産業の不振により、長崎を離れざるを得ない現状があります。

**玉木** 次世代のために、特に若い女性が住み続けたい地方の街づくりは重要なポイントになります。若い方の転出は大きな問題ですね。

**西岡** 都市部に比べると女性が活躍できる場が少なく、地域に根ざした女性の活躍を推進し、女性を応援する施策を地方から積極的に進めていくことが必要です。

## 長崎を新たな地方創生モデルに

**玉木** 一方で、いま都会から地方に移り住むという新しい流れもあります。国民民主党では「21世紀の田園都市国家構想」を提唱しています。その実現への鍵は、やはりデジタル技術の発展です。

**西岡** コロナ禍でリモートワークが推進され、地方で暮らし働くことが身近なものとなりました。長崎がその選択肢となるべく環境整備に取り組むことが急務です。

**玉木** 再生可能エネルギーも重要ですね。地方にこそある豊かなエネルギー源を日々の生活に活かせれば、地方の豊かな暮らしのモデルをつくれるのではないかと。むしろ地方にこそチャンスがある、ということを国民民主党としても積極的に発信していきたいですね。

**西岡** そうですね。長崎独自の素晴らしさとアジアに近いチャンスを活かしていく。そうして産業や観光等の様々な拠点づくりを実現し、明るい未来に繋げていきたいと考えています。

## 造船業再生と洋上風力発電の取り組み

**玉木** 長崎は造船業が厳しい状況にある一方で、洋上風力発電の拠点構想が出ています。西岡議員もかなり動かれていますよね。

**西岡** 長崎にとって、地域経済を支える造船業をはじめ海産産業等の強化が重要です。先の国会では造船業等を強化する為の法律が成立しました。一方で我が国の優れた造船技術は様々な産業への転用が可能で、洋上風力発電もその一つです。そこで昨年暮れ、榛葉幹事長と共に、経産大臣に造船ドックを活用した洋上風力の構造物の製造・組立て等について要望しました。

# 長崎の新たな 地方創生と 女性活躍の 社会をめざして。

## 教育を国づくりの柱に

**玉木** 新たな時代や産業の発展には、やはり人づくりが重要です。西岡議員も力を入れている「教育」についてはいかがですか。

**西岡** 代表の「教育を国家の柱に」という考えは全面的に同じ思いですね。これまで教育や科学技術に十分な予算を配分してこなかったこと、例えば国産ワクチン開発の遅れなどがコロナ禍で浮き彫りになりました。

**玉木** 日本が世界の中で引き続き発展する国になるのか。それとも、衰退していく国になるのか。今はその境目だと思っています。日本はやはり今も昔も最大の財産は人です。「人づくりなくして国づくりなし」という原点にもう一度立ち戻るべきだと思います。

**西岡** はい。地方への移住を決める際にも「教育」は重要視されるテーマだと思います。

**玉木** 地方で優れた教育を受けられる環境が増えていくと本当に良いですね。教育を起点にできれば移住や人の移動、さらには人生設計につながると思います。「教育を軸とした地方創生」。こうした視点はこれからとても大事なことだと思います。

**西岡** 最先端の研究を行う大学などが、地方創生の核となり、新しい産業や雇用の創出に繋がっていかねばなりません。



国民民主党 代表  
玉木雄一郎

衆議院議員 長崎1区  
西岡 秀子



## ワクチンとともに検査、 水際対策の強化を

**玉木** 新型コロナ対策では、西岡議員も予算委員会のメンバーとして当初から、水際対策の重要性、出入国管理法の問題などで尽力されてきました。

**西岡** まず、医療従事者の皆様をはじめこれまでご尽力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げたいと思います。いま、政府はワクチン接種さえ進めば感染が収束するという方針にみえます。一方で私たちがずっと主張してきた検査、水際対策の強化をワクチン接種と並行して推進することが重要です。そのことによって安心して経済を回すことができれば。

**玉木** そうですね。我々も早くから誰もが簡単に検査を受けられるようにと提案してきましたが、ようやく簡易検査が高齢者施設や学校などで行えるようになりました。ぜひ党として経済社会活動を安心して再開するための政策を積極的に進めていきたいと思っています。

## 長崎と日本のこれからを見つめて

**西岡** 「安心・安全」「持続可能性」が重要なキーワードです。コロナ禍を経験して、自然災害、新たな感染症等の脅威から国民を守る為に危機に強い国づくりを目指します。また長崎では「おくんち」をはじめ、様々な地域の伝統行事が中止となり、改めて地域の伝統文化を守り、次世代に継承していく支援の必要性を感じています。先般、被爆者の皆様の精力的な国内外への「訴え」が結実した核兵器禁止条約が発効しました。核兵器廃絶は難しい課題ですが、条約の批准・署名を目指し、長崎の「平和」への想いを伝え、取り組むことが私の使命だと思っています。また、被爆者の高齢化が進む中で、若い皆さんの「平和」への取り組みも支援していきたいです。

**玉木** 「安心・安全」そして「平和」。その当たり前が、じつは当たり前でなかったということを感じさせてくれたこともこのコロナ禍かと思います。そういう意味でも、当たり前が当たり前であり続けるための努力を。我々政治が改めて取り組んでいかなければと思います。ぜひ力を合わせて頑張っていきたいと思います。



## 国民民主党長崎県第1区総支部

〒850-0035 長崎県長崎市元船町 7-6

TEL 095-826-0446 FAX 095-826-0445

最新情報は  
ツイッターで  
チェックできます

